

学術研究員募集(聴覚生理学・音響心理学)

九州大学森研究室では、下記の要領で学術研究員(ポスドク相当)を募集します。

【研究機関の紹介】

当研究室では、科学研究費基盤研究(A)の補助を受けて、聴覚におけるチャンネル間処理についてヒトを対象とした心理物理学実験と電気生理実験を併用した研究をおこなっています。

参考: 科研 HP

http://cog.inf.kyushu-u.ac.jp/kaken_mori/

【仕事の内容】

無音検出や音声知覚を対象とした脳磁図(MEG)や聴性脳幹反応(ABR)による研究を推進する人を募集します。

無音検出は聴覚時間分解能の主要な測定方法です。一般的な無音検出課題では定常音の中の1~5 msecの無音が容易に検出されます。一方、無音前後の音の周波数が異なると無音の検出が難しくなり、閾値が50 msec以上にもなります。この周波数間無音検出が困難である要因の一つが、無音前後の周波数が異なる周波数チャンネルで処理される、いわばチャンネル間処理にあると考えられています。またこのチャンネル間処理は、VOTを手掛かりとする音声知覚にも関連すると考えられています。森研究室では、チャンネル間処理がどのようにして、また聴覚系のどこで行われているかを解明するために、MEGやABRによる電気生理実験と心理物理学実験を精力的に展開しています。

【募集人員】

1名

【勤務地】

九州大学大学院システム情報科学研究院(福岡市西区・九州大学伊都キャンパス)

【応募資格】

博士の学位を有するか2015年3月までに学位取得見込みであり、国際誌に査読論文1本以上の業績を有し、次のいずれかあるいは両方に該当する方

・脳磁図や聴性脳幹反応による研究に習熟している、あるいはこれらの手法を習得する意欲がある

・音響心理学、心理物理学、聴覚生理学に精通している

【待遇】

本学の規定による(詳細はお問い合わせください)。社会保険、雇用保険あり。単年度契約、評価により更新可能。ただし、現在確定している予算の範囲では、2018年3月31日を限度とします。

【募集期間】

2015年4月30日まで(ただし適任者が決まり次第、募集を締め切ります)

【着任時期】

2015年4月以降のできる限り早い時期(採用日:各月1日又は16日)

【応募書類】

(1)履歴書(写真貼付)

※連絡用のメールアドレスを含むこと

(2)研究業績リスト

(3)主要論文(3編以内)の別刷り

(4)これまでの研究の概要と志望動機(1000字以内)

(5)照会先2名の氏名と連絡先(指導教員または現職の上長を含むこと)

提出書類(1)～(5)を2015年4月30日まで(当日必着)に下記送付先へ郵送してください(書類受領のメールを送信しますので確認してください)。

応募の秘密は厳守し、応募書類は採用選考の目的以外には使用いたしません。また、応募書類は責任を持って破砕処理の後に廃棄し、返却いたしません。予めご了承ください。

【選考方法】

書類および面接により選考します。

面接に旅費が生じる場合は、応募者の負担となります。

【問い合わせ及び書類送付先】

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

九州大学大学院システム情報科学研究院情報学部門

教授 森 周司

電話:092-802-3592

E-mail:mori@inf.kyushu-u.ac.jp

以下、補足情報です。

森研究室では科研(http://cog.inf.kyushu-u.ac.jp/kaken_mori/)の一環で、無音検出や音声知覚に関し、行動実験、ABR や MEG の測定、更には蝸牛のシミュレーションを含め、いわば「蝸牛から行動まで」の聴覚情報処理の検討を行っています。学術研究員の方にもこの研究に加わって頂きます。

ヒト聴覚の知識とともに、ABR と MEG 研究の経験があれば最適です。しかし、いずれかの知識や経験のみを有するだけでも、上記のような新たな研究に積極的に取り組もうとする意気込みの人であれば歓迎します。雇用期間の最初は必要な知識や技術の習得に使うことでも構いません。

また上記の研究を進めていただければ、ご自身の研究を平行して行うことも可能ですし、そちらでの論文執筆や学会発表を制限することはありません。学術研究員(ポスドク)はキャリアアップの一環と考えていますので、その配慮もします。ご質問等があれば森(mori@inf.kyushu-u.ac.jp)までお願い致します。